

誰もが輝くトライアングルプランⅣ
 ～第2次瀬戸市女性活躍推進計画・第4次瀬戸市男女共同参画プラン～（案）
 に対するパブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間 令和3年12月22日（水）～令和4年1月21日（金）
- 2 意見提出人数 1人
- 3 意見件数 6件
- 4 意見への対応
- (1) 意見を踏まえて、案の修正をするもの 1件
 - (2) 意見の主旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの 4件
 - (3) 今後の事業実施の参考とするもの 1件
 - (4) その他（本計画案に対する意見でないものなど） 0件

5 意見の概要及び市の考え方

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方	対応
1	P. 2	2行目には「位置付ける」と漢字が使われているが、このタイトルや6行目では「位置づけ」や「位置づける」と平仮名が使われているため、表記をそろえる。	平仮名表記に統一します。	(1)
2	P. 3	市民や事業所、教育関係者ができることを例示することが、読み手の思考等を、本案作成者の想定範囲に限定することにつながるか憂慮する。	本プランで例示しているものは、1つのガイドであり、それぞれができることを考える際の方向性を示すものと考えております。	(2)
3	P. 10	ここでは、小・中学校での校長教頭の女性の割合が取り上げられているが、性別役割分担の問題を考える場合、他の職業や立場での男性の割合についても示す必要があるのではないかと。女性の割合だけでなく、男性の割合、さらには LGBTQ など性的少数者の割合等から、ジェンダー平等についての課題を示すことが、市民の意識啓発につながるかと考える。	現時点では、社会の様々な分野において指導的地位に女性が占める割合が低いことが課題として認識されていることから、P. 10 においては、本市の女性の参画の状況について示しております。また、ジェンダー平等における意識啓発については重点課題として認識しており、P. 31 に記載するとともに、その対策として P. 43～52 に様々な取組を記載しております。	(2)

4	P. 19	4行目や7行目で「LGBTQ」とあるが、P51とP52では「LGBT等」となっている。そろえる必要はないか。	P. 19では昨年度実施したアンケート調査の項目をそのまま引用しています。性的マイノリティの表現については、様々な表記が存在します。今年度の審議会で協議した結果、本プランではLGBT等という表記にそろえることとしました。	(2)
5	P. 26, 27, 35	「登用」という言葉からは「登用する立場」と「登用される立場」の存在を感じる。「女性の登用」との表現を使うことが、本案がジェンダー平等に向けた取組であることと矛盾しないか。他の表現はないか。	人材を管理職などに引き上げる、という意味で「登用」という言葉を用いており、一般的に使用されていることから、適切と考えております。	(2)
6	P. 34	三世代近居支援を、市民みんなで子どもを育てる気運の醸成や子育ての環境整備につなげたいと思う。子育ての中心は家族かもしれないが、地域で子どもを育てる気運を育てることが、子育て環境整備には大切だと考える。子育てで担うべき役割は、家庭・地域・行政、それぞれにあり、それぞれが子育ての当事者として、その役割を果たすことで、子どもの健全育成が促進されると考える。また、この取組を進めることが地域づくりや街づくりにつながるように思う。	本プランは、男女共同参画に関わる施策を推進するための計画です。P. 2に記載しているように、第6次瀬戸市総合計画をはじめとする他分野の関連計画や諸事業と連携を図りながら、ご意見にあるような地域づくりやまちづくりに努めてまいります。	(3)